

NEWS RELEASE



業界初 リアルタイムで積算入力チェック 積算スキルの差を解消し、熟練者も精度向上 土木積算システム「ゴールデンリバー 2022」新登場

株式会社シーピーユー（本社：石川県金沢市西泉4-60、代表取締役 木屋満晶）は、入力内容を積算の熟練者と同等の知識と技能でリアルタイムに自動判定するチェック機能を実装した土木積算システムの最新版「ゴールデンリバー 2022」を2022年4月1日（金）にリリースします。同用途のソフトウェアにおいては、リアルタイムによる積算入力チェック機能の実装は業界初となります。

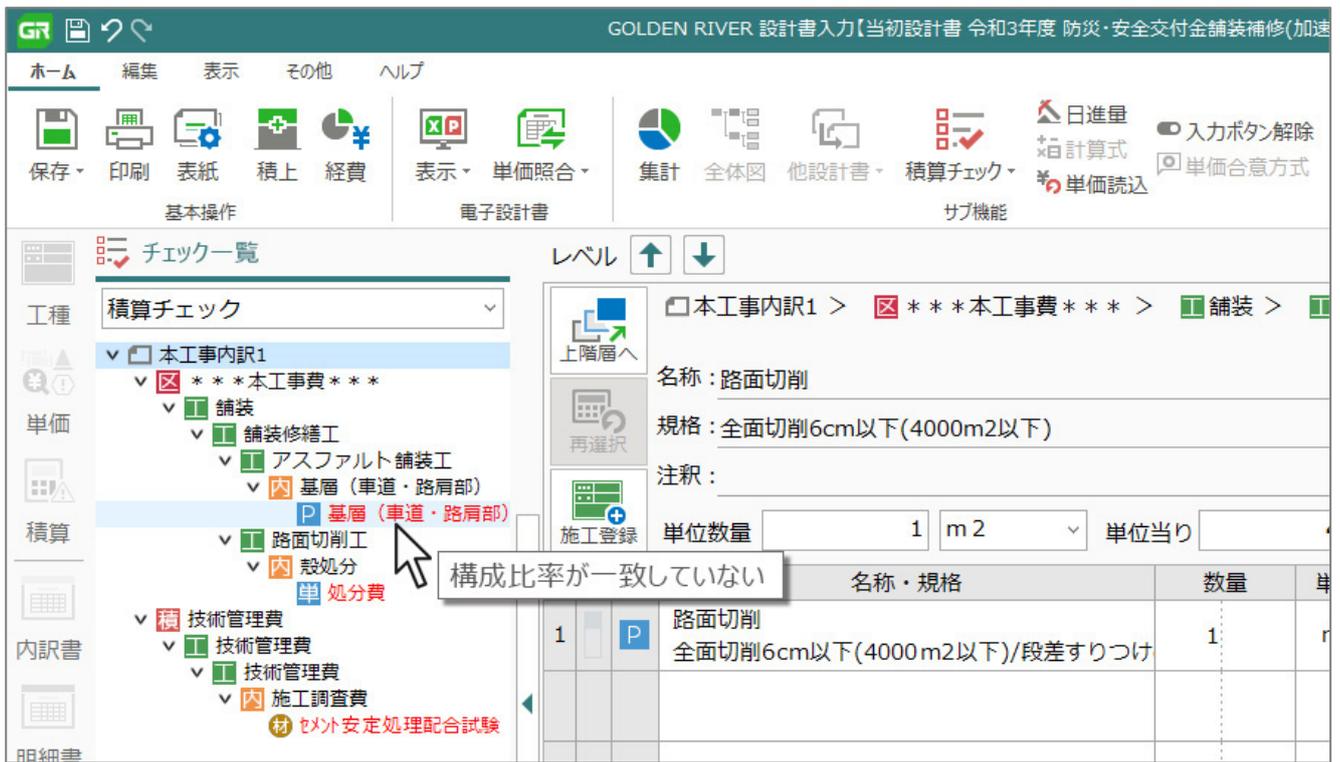
公共工事における入札前の積算業務では、積算設計図書に明記されている様々な代価表（内訳書や明細書に計上され単価明細として用いられる表）をはじめとする膨大な情報に加え、経験値が求められる明記されていない条件などの読み取りが必要です。近年進んでいる積算設計図書の電子化のメリットを活かし、「ゴールデンリバー」では、昨年他社に先駆けて積算設計図書に明記された条件をシステム側が読み取り、履歴や当社の長年のノウハウにより積算を自動実行させる仕組みを構築しました。この機能の実装によって積算作業は大幅に軽減されましたが、積算後の確認工程では、多くの時間がかかり、熟練者の知識や技能に頼っていることが浮き彫りになりました。

「ゴールデンリバー 2022」では、従来システムで最も時間とスキルを要するとされている「積算した内容が積算設計図書に明記された内容と合致しているか」という整合性の確認を行う『積算チェック』を実装します。『積算チェック』は、本システムに取り込んだ積算設計図書と、それをもとに自動積算を行った入力内容をシステム側がリアルタイムに比較します。相違箇所のある場所と項目を一覧で示し、該当項目にマウスポインタを置くと表示される「構成比率が一致していない」、「数量が異なる可能性あり」などのメッセージで次の行動を促します。相違内容をリアルタイムに視覚化することは、使い手のスキルに左右されることなく発注元の意図を見逃さず、積算精度を高められます。熟練者が入力する場合であっても、ストレスの少ない環境の下、短時間で確認工程が行え、さらなる精度の向上に繋がります。

『積算チェック』で行っている自動処理は、これまで、豊富な実務経験を有する熟練者が何度も繰り返し時間を割いて行う業務でした。高齢化が課題の一つになっている建設業界にあっては、若手社員への知識と技能を継承する手段としても本システムは貢献します。

そのほかにも、「ゴールデンリバー 2022」は、入力中の画面に加えて、入力済みの本システムのデータを別画面で表示する複数同時起動に対応しました。企業の資産とも言える過去の積算データとの内容比較や項目のコピーなど、データの利活用を容易に実現できます。また、各地で増加傾向にあるランダム係数を用いた入札内訳書の作成を一括処理する機能も搭載され、公共工事入札に参加される企業の生産性向上に寄与します。

▼ ゴールデンリバー 2022「積算チェック」機能 画面イメージ



製品名	土木積算システム「ゴールデンリバー 2022」
提供開始	2022年 4月 1日(木)
価格	オープン価格(システム構成によって異なりますので、お問い合わせください。) ※ゴールデンリバー ユーザー様(データサポート会員にご加入の方)は、追加費用不要です。

[本件に関するお問い合わせ]

株式会社シーピーユー 企画課 TEL.076-280-8023 E-mail kikaku@cpu-net.co.jp